

平成27年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	平成7年7月11日豪雨災害20周年事業	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	松本支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	キャンペーン、〇〇月間	

1. 事業目的

平成7年7月11日の長野県北部及び新潟県西部を襲った集中豪雨災害から20年を迎える。この節目を契機として、地域の方々と共に、過去の大災害の経験から学び、また、教訓として後世に伝える機会としてとらえ、防災意識の高揚・防災力の向上に取り組み、土砂災害等の自然災害に対し、安心して暮らせる地域づくりを目指すため、7.11災害20周年事業を行うものである。

2. 事業実施体制

【姫川流域 新潟県】

主催:新潟県／糸魚川市、姫川水系砂防土砂災害の教訓・継承実行委員会、関川・姫川「7.11水害」20周年事業実行委員会

【姫川流域 長野県】

主催:小谷村、白馬村、姫川水系砂防土砂災害の教訓・継承実行委員会
共催:長野県、長野県治水砂防協会、国土交通省松本砂防事務所
後援:長野県砂防ボランティア協会、信濃川・姫川水系砂防工事促進期同盟会、(公社)日本地すべり学会中部支部、(一社)斜面防災対策技術協会長野支部、長野県防災サポートアドバイザー協会、姫川建設業協会、報道関係7社
協賛:(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

【姫川流域 新潟県】

催事名:「7.11豪雨災害」20周年事業 糸魚川市シンポジウム

日時:平成27年7月11日(土) 13:30~16:30

場所:糸魚川市民会館

概要:

- ・糸魚川市立根知小学校発表、7.11豪雨災害記録映像上映
- ・基調講演「7.11水害の教訓」講師:水山 高久(政策研究大学院大学特任教授)
- ・パネルディスカッション「よみがえった! 清流姫川 伝えたい! 未来への記憶」

【姫川流域 長野県】

催事名:「7.11豪雨災害」20周年事業 小谷村シンポジウム

日時:平成27年7月12日(日) 13:30~16:30

場所:小谷小学校体育館

概要:

- ・7.11豪雨災害記録映像上映、体験発表(小谷村・白馬村在住者3名)
- ・パネルディスカッション「災害に備える」

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

H7.7.11の大災害から20年の節目を迎え、新潟県と長野県にまたがる姫川流域の糸魚川市、小谷村それぞれでシンポジウムを開催した。「あれから20年 あの経験を未来のために」というテーマのもと、災害体験者や地域の子供たちの発表を盛り込み、事業の趣旨を顕在化させた。地域防災の主体となる沿川住民の方々が多数参加され、当時は振り返って、7.11災害を風化させず災害に立ち向かい共に助け合う防災意識の高揚とこれからの世代へ経験・教訓をつないでいくことの重要性を確認できた。

参加者数:糸魚川市会場600名、小谷村会場260名



小谷村シンポジウム
開催状況



同時開催